

《基本目標 1》「強靱」な水道の構築

主要施策（1）安定給水の確保

R6 年度最終予算額（千円）				R6 年度決算額等（千円）		
R6 当初予算額	R6 最終予算額	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
46,921,146	44,003,811	16,080,267	60,084,078	36,909,422	19,870,976	56,780,398

○主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
①浄・給水場等の更新・整備					
ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備の推進			-		R5年度で事業完了
栗山浄水場給水場化に係る施設整備の推進	○				
自家発電設備の増強施設数				○	
②管路の更新・整備					
小口径管の更新延長		○			
大口径管路更新の実施				○	
基幹管路の整備の推進	○				

○主要施策の評価

達成状況	未達成だが進展している
2つの項目について「達成している（100点）」、1つの項目について「概ね達成している（90点）」、2つの項目について「進展していない（25点）」と評価したことから、施策全体としては「未達成だが進展している（45点以上75点未満）」と評価しました。 $\frac{100 \times 2 + 90 \times 1 + 25 \times 2}{5} = 68$	

○成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 浄水場事故割合	0回	0回	達成している		
2. 管路の事故割合	管路100Kmあたり1.0件以下	管路100Kmあたり0.9件	達成している		
過年度実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 浄水場事故割合	0回	0回	0回	0回	
2. 管路の事故割合	0.8件	0.8件	0.9件	0.9件	

【評価結果の説明・分析】
1. 浄水場事故割合については、浄水場事故が発生せず目標を達成したため、「達成している」と評価しました。
2. 管路の事故割合については、管路の更新・整備を行い、更に日々の点検・修繕による適切な維持管理を行うことで目標を達成したため、「達成している」と評価しました。

○今後の進め方

今後の進め方	継続
【評価結果の説明・分析】 主要施策の評価については「未達成だが進展している」、成果指標の達成状況については、「達成している」と評価しており、遅れが生じているものの事業は進展していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。 進捗が遅れが生じている自家発電設備の増強工事については、入札不調や埋蔵文化財の調査が生じたことなどにより、完了時期が遅れることとなりました。一方で、すべての施設で工事に着手していることから、工事の進捗管理を適切に行い、早期に完了できるよう取り組んでまいります。 大口径管路更新工事については、入札不調となったことや実施設計に時間を要していることなどから、計画どおりに進捗していない状況ですが、入札不調への対策として、発注時期の見直しやフレックス工期契約制度の活用などを行うとともに、実施設計に時間を要しているものについては、施工方法等について再検討を行い、設計が完了次第、速やかに発注し、引き続き事業を実施していきます。	

○内部評価機関 (経営戦略会議)	(総合的な意見等) 自己評価を妥当と認める
における評価	(特記事項) なし

外部評価会議委員の評価	「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性 A：妥当である 5人 B：概ね妥当である 人 C：不十分である 人	・適切に評価が行われているため、A妥当であると評価する。 ・達成指標と成果指標の指標間の整合性は、次期中期経営計画の策定の中で因果関係をもって整理していただきたい。
外部評価会議委員の主な意見等及び局の回答	・大口径管路更新工事について、発注時期が1月、2月ではなく、もっと早い時期であれば受注者の技術者を確保できる可能性もあったか。 (局回答) 発注時期が1月、2月だったから不調になったということではないと考えている。また、受注者の技術者の状況は、発注者側では把握できない部分があるので、一概にこの時期なら技術者がいるというところまでは言えない。  ・大口径管路更新工事の進捗が遅れた理由として、入札不調や関係機関との協議に時間を要したこと、調査・設計段階での手戻りがあったとのことだが、今後もこういったことを繰り返さないように取り組んでいただきたい。 (局回答) 大口径管路の更新工事は、現中期経営計画の期間から本格的に進めているところであり、事業を進めていく中でわかってきたこともあるので、手戻りが生じないよう早い段階で試掘を行うなどの改善策を取りながら進めている。  ・日々のメンテナンス作業をきちんと行って、施設の状態を把握していることはとても評価できる。  ・成果指標の「管路の事故割合」の目標を達成した理由が更新・整備でなく、維持管理というのであれば、成果のつなげ方について整理する必要がある。 (局回答) 更新・整備と維持管理は性格が違い、成果指標の事故割合については、施設を維持することで事故が減るというものと考えている。達成指標と成果指標の関連性は、次期計画の策定の中で改善していきたい。	

≪基本目標 1≫「強靱」な水道の構築

主要施策（2）災害に強い施設整備の推進

R6 年度最終予算額（千円）				R6 年度決算額等（千円）		
R6 当初予算額	R6 最終予算額	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
47,022,130	44,119,783	15,095,316	59,215,099	35,824,817	20,134,701	55,959,519

○主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
①浄・給水場等の耐震化の推進					
施設の耐震化工事の実施			○		
②管路の耐震化の推進					
湾岸埋立地域の管路更新延長	○				
最重要給水施設管路の更新延長			○		
小中口径管の更新延長（再掲）		○			
大口径管路更新の実施（再掲）				○	
基幹管路の整備の推進（再掲）	○				
③停電・浸水対策等の強化					
自家発電設備の増強施設数（再掲）				○	
計装設備の電源強化施設数及び浸水対策施設数			—		R4 年度で事業完了

○主要施策の評価

達成状況	未達成だが進展している
<p>2つの項目について「達成している（100点）」、1つの項目について「概ね達成している（90点）」、2つの項目について「未達成だが進展している（65点）」、2つの項目について「進展していない（25点）」と評価したことから、施策全体としては「未達成だが進展している（45点以上75点未満）」と評価しました。</p> $\frac{100 \times 2 + 90 \times 1 + 65 \times 2 + 25 \times 2}{7} = 67.14$	

○成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 湾岸埋立地域における管路の耐震化率	66.7%（令和6年度） 70.0%（令和7年度）	66.0%	概ね達成している		
2. 最重要給水施設管路（小中口径）の耐震化率	70.0%（令和6年度） 80.0%以上（令和7年度）	63.3%	概ね達成している		
3. 管路の耐震化率	29.0%（令和6年度） 30.0%（令和7年度）	28.8%	概ね達成している		
4. 浄・給水場の耐震化率	99.5%（令和6年度） 99.5%（令和7年度）	99.3%	概ね達成している		
過年度実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 湾岸埋立地域における管路の耐震化率	55.3%	59.2%	62.4%	66.0%	
2. 最重要給水施設管路（小中口径）の耐震化率	32.9%	40.5%	54.2%	63.3%	
3. 管路の耐震化率	25.9%	26.9%	27.8%	28.8%	
4. 浄・給水場の耐震化率	98.8%	98.8%	99.1%	99.3%	

【評価結果の説明・分析】

- 湾岸埋立地域の管路の耐震化率については、令和7年度の目標達成に向け事業を進め、令和6年度は計画した管路延長を更新したものの、目標とする耐震化率には届かなかったため、「概ね達成している」と評価しました。
- 最重要給水施設管路の耐震化率については、令和7年度の目標達成に向け事業を進め、一部入札不調となったことや道路管理者等との協議に時間を要したものの、概ね目標を達成したため、「概ね達成している」と評価しました。

<p>3. 管路の耐震化率については、令和7年度の目標達成に向け事業を進め、一部入札不調となったことや道路管理者等との協議に時間を要したものの、概ね目標を達成したため、「概ね達成している」と評価しました。</p> <p>4. 浄・給水場の耐震化率については、令和6年度に完了予定としていた2件の耐震化工事のうち1件が完了したものの、1件が令和7年度に完成予定となったことから、「概ね達成している」と評価しました。</p>
--

○今後の進め方

今後の進め方	継続
<p>【評価結果の説明・分析】</p> <p>主要施策の評価については「未達成だが進展している」、成果指標の達成状況については、「概ね達成している」と評価しており、遅れが生じているものの事業は進展していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。</p> <p>進捗に遅れが生じている印旛系1号調圧水槽の耐震化工事については、現場条件が建設時の完成図面と異なっていたことから、連絡管の布設位置等を再検討が生じたことなどにより、完了時期が遅れることとなりましたが、引き続き工事の進捗管理を適切に行い、令和7年度中に完了できるよう取り組んでまいります。</p> <p>最重要給水施設への管路の更新については、一部入札不調となったことや道路管理者等との協議に時間を要したことなどにより、進捗に遅れが生じましたが、入札不調への対応として、フレックス工期契約制度の活用や発注規模の見直しを行うとともに、道路管理者等との綿密な協議・調整を行うなど計画的に事業を実施できるよう取り組んでいきます。</p>	

○内部評価機関 (経営戦略会議) における評価	<p>(総合的な意見等)</p> <p>自己評価を妥当と認める</p> <p>(特記事項)</p> <p>なし</p>
-------------------------------	---

外部評価会議委員の評価	<p>「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性</p> <p>A：妥当である 4人 B：概ね妥当である 1人 C：不十分である 人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切に評価が行われているため、A妥当であると評価する。</li> <li>適切に評価が行われているものの、再掲の事業を抜いた施策の評点はc評価ではなくb評価になるため、現行の評価制度は厳しく評価をしている形になっている。</li> <li>次期計画では、再掲項目の整理も含め改善していただきたい。</li> <li>いつ地震が発生するかわからないので、耐震化を早く進めてほしい。</li> </ul>
外部評価会議委員の主な意見等及び局の回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>最重要給水施設への管路の耐震化がまだ行われていないところは、是非達成できるように進めていただきたい。</li> <li>昨今、全国的にインフラ事故が発生しているので、引き続き更新・耐震化を進めていただきたい。</li> <li>管路の耐震化事業として、湾岸埋立地域や最重要給水施設への管路を対象としているが、施工箇所の優先順位付けという理解でよいか。 (局回答) 近い将来に発生が懸念される首都直下地震に備え、液状化が想定される湾岸埋立地域の管路、災害拠点病院や防災拠点などの最重要給水施設につながる管路を目標使用年数にかかわらず優先して耐震化を進めている。</li> </ul>	

《基本目標 1》「強靱」な水道の構築

主要施策（3）危機管理体制の充実

R6 年度最終予算額（千円）				R6 年度決算額等（千円）		
R6 当初予算額	R6 最終予算額	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
1,030,792	860,096	690,726	1,550,822	1,544,840	0	1,544,840

○主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
① 緊急時に備えた体制の充実					
非常時対応訓練の実施、テーマ型訓練の実施、支援協力員との応急給水訓練の実施	○				
本局新庁舎（仮称）の建設	○				
② 給水区域内 11 市等関係機関との連携強化					
応急給水等連絡調整会議の実施	○				
給水区域内各市との合同訓練の実施	○				

○主要施策の評価

達成状況	達成している
主な事業に係る達成指標について、全ての項目で目標を達成したことから、施策全体として「達成している」と評価しました。	

○成果指標の達成状況

成果指標	目標		実績		達成状況	
1. 緊急時における給水体制	減・断水期間を 4 週間以内に抑える		超過件数：該当なし		達成している	
2. 各種訓練等の実施率	100%		100%以上		達成している	
過年度実績	R3	R4	R5	R6	R7	
1. 緊急時における給水体制	超過件数：該当なし	超過件数：該当なし	超過件数：該当なし	超過件数：該当なし		
2. 各種訓練等の実施率	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上		
【評価結果の説明・分析】						
1. 「緊急時における給水体制」については、超過件数の該当がなかったため、「達成している」としました。 2. 「各種訓練等の実施率」については、関係所属及び給水区域内各市と相互に調整した結果、「非常時対応訓練」、「テーマ型訓練」、「給水区域内各市との合同訓練」などの訓練実施率の目標を上回ることが出来たため、「達成している」としました。						

○今後の進め方

今後の進め方	継続
【評価結果の説明・分析】 達成指標、成果指標ともに目標を達成し、順調に進捗していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。	

○内部評価機関 (経営戦略会議) における評価	(総合的な意見等) 自己評価を妥当と認める
	(特記事項) なし

主要施策評価シート

様式 2

外部評価会議委員の評価	「主な事業の達成状況、主要施策の評価、 成果、今後の進め方」についての 評価の妥当性  A：妥当である           5人 B：概ね妥当である       人 C：不十分である         人	・適切に評価が行われているため、A妥当であると評価する。
外部評価会議委員の主な意見 等及び局の回答	なし	

《基本目標 2》「安全」な水の供給

主要施策（4）安全で安心な水づくり

R6 年度最終予算額（千円）				R6 年度決算額等（千円）		
R6 当初予算額	R6 最終予算額	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
937,370	938,044	1,249,481	2,187,525	1,867,033	141,515	2,008,548

○主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
①水源の監視・保全					
水源調査回数	○				
②高度浄水処理の導入					
ちば野菊の里浄水場(第2期)施設整備の推進(再掲)			—		R5 年度で事業完了
③水質管理の徹底					
水安全計画の見直しの実施	○				
水道 G L P の認定維持	○				
水質検査計画の見直しの実施	○				
水質検査機器の更新の実施	○				
水質自動監視装置の更新の実施			—		
送配水管の計画洗浄延長	○				
貯水槽水道の適正管理啓発実施率、直結給水率		○			

○主要施策の評価

達成状況	達成している
<p>6つの項目について「達成している(100点)」、1つの項目について「概ね達成している(90点)」と評価したことから、施策全体としては「達成している(95点以上)」と評価しました。</p> $\frac{100 \times 6 + 90 \times 1}{7} = 98.57$	

○成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 水道水における水質基準超過件数	0件	0件	達成している		
過年度実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 水道水における水質基準超過件数	0件	0件	0件	0件	

【評価結果の説明・分析】  
 水源の監視・保全や水質管理に係る各種取組を実施し、水源から蛇口に至るまでの水質管理を適切に行った結果、年間を通じて水道水の水質基準を遵守することができ、目標を達成しました。

○今後の進め方

今後の進め方	継続
<p>【評価結果の説明・分析】                  主要施策の評価については、「達成している」又は「概ね達成している」、成果指標の達成状況については、「達成している」と評価しており、施策全体として概ね順調に進捗していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。</p>	

○内部評価機関 (経営戦略会議)	(総合的な意見等) 自己評価を妥当と認める
における評価	(特記事項)

	なし
--	----

外部評価会議委員の評価	「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切に評価が行われているため、A妥当であると評価する。</li> </ul>
	A：妥当である            5人 B：概ね妥当である        人 C：不十分である            人	
外部評価会議委員の主な意見等及び局の回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送・配水管の計画的な洗浄について、どのような管路を対象に洗浄を行っているのか。 (局回答) 錆が滞留しやすい水の流れが遅いところや更新工事等により水の流れが変わるところを中心に計画的に洗浄を実施している。</li> <li>・貯水槽の管理は衛生部門と連携しながら進めているのか。 (局回答) 10 m<sup>3</sup>を超える貯水槽は衛生部門が指導しており、10 m<sup>3</sup>以下は給水条例に基づき県営水道で指導している。</li> </ul>	

《基本目標 2》「安全」な水の供給

主要施策（5）おいしい水の供給

R6 年度最終予算額（千円）				R6 年度決算額等（千円）		
R6 当初予算額	R6 最終予算額	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
300,071	291,030	0	291,030	254,959	0	254,959

○主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
①おいしい水の技術的な取組					
残留塩素の低減化試験等の実施	○				
送配水管の計画洗浄延長（再掲）	○				
貯水槽水道の適正管理啓発実施率、直結給水率（再掲）		○			
②おいしい水のお客様との取組					
イベント等 PR 活動の実施	○				
水質検査体験実施・開催回数、 おいしい水検定実施・開催回数、 おいしい水懇話会実施・開催回数	○				

○主要施策の評価

達成状況	達成している
4つの項目について「達成している（100点）」、1つの項目について「概ね達成している（90点）」と評価したことから、施策全体としては「達成している（95点以上）」と評価しました。  $\frac{100 \times 4 + 90 \times 1}{5} = 98$	

○成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 水道水の飲み水としての満足度	80%以上（令和7年度）	86%	達成している		
過年度実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 水道水の飲み水としての満足度	85%	84%	86%	86%	
【評価結果の説明・分析】 成果指標については、「水道水の飲み水としての満足度」が目標の80%以上となる86%と成果が出ていることから、「達成している」と評価しました。					

○今後の進め方

今後の進め方	継続
【評価結果の説明・分析】 主要施策の評価については、「達成している」又は「概ね達成している」、成果指標の達成状況については、「達成している」と評価しており、施策全体として概ね順調に進捗していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。	

○内部評価機関 (経営戦略会議) における評価	(総合的な意見等) 自己評価を妥当と認める
	(特記事項) なし

主要施策評価シート

様式 2

外部評価会議委員の評価	「主な事業の達成状況、主要施策の評価、 成果、今後の進め方」についての 評価の妥当性  A：妥当である           5人 B：概ね妥当である       人 C：不十分である         人	・適切に評価が行われているため、A妥当であると評価する。
外部評価会議委員の主な意見 等及び局の回答	なし	

《基本目標 3》お客様からの「信頼」の確保

主要施策（6）お客様サービスの向上

R6 年度最終予算額（千円）				R6 年度決算額等（千円）		
R6 当初予算額	R6 最終予算額	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
1, 293, 984	1, 159, 457	0	1, 159, 457	1, 148, 775	0	1, 148, 775

○主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
①支払方法の多様化や手続き等のオンライン化					
支払方法の多様化及び手続き、問い合わせ・御相談等のオンライン化の実施状況	○				
②「お客様の声」を活かした事業運営（広報・広聴の充実）					
アンケート情報収集割合	○				
業務改善数	○				
新たな広聴手段の検討と実施	○				
広報活動の改善状況	○				

○主要施策の評価

達成状況	達成している
主な事業に係る達成指標について、全ての項目で目標を達成したことから、施策全体として「達成している」と評価しました。	

○成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 県水だより満足度	90.0%以上（毎年度）	88.6% （標本誤差を加味して 87.2%～90.0%）	達成している		
2. ホームページ満足度	80.0%以上（毎年度）	66.7% （標本誤差を加味して 64.7%～68.7%）	概ね達成している		
3. お客様サービス満足度	90.0%以上（毎年度）	94.4% （標本誤差を加味して 93.4%～95.4%）	達成している		
過年度実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 県水だより満足度	87.1%	88.3%	89.2%	88.6%	
2. ホームページ満足度	65.9%	65.8%	68.6%	66.7%	
3. お客様サービス満足度	92.3%	92.3%	92.6%	94.4%	

【評価結果の説明・分析】

達成指標 1 から 3 の満足度を確認するため、県営水道の利用者の中から選定したインターネットモニターを対象としたアンケート調査を実施しました。

1. 県水だよりの満足度について、実績値は「88.6%」、標本誤差を加味した値は「90.0%」であり、目標を達成したため「達成している」と評価しました。

引き続きお客様の声を活かした紙面づくりや、お客様に興味を持っていただけるような創意工夫を行い、満足度向上を図ります。

2. ホームページ満足度について、実績値は「66.7%」、標本誤差を加味した値は「68.7%」で目標値を下回る結果となったものの、目標の80%以上の実績となったことから「概ね達成している」と評価しました。

令和6年度は各ページの見やすさ、利用のしやすさを改善するため様々な改修を行いました。しかし、「目的とするページを見つけづらい」、「表現やデザインが堅い（文字が多い）」などの声が寄せられていることから、今後もお客様の視点に立ってページのレイアウト、構成について検討を重ねるとともに、イラストや写真を積極的に活用し、見やすい・利用しやすいホームページづくりに取り組みます。

3. お客様サービス満足度について、実績値は「94.4%」であり、目標を達成したため「達成している」と評価しました。

《参考 アンケートの標本誤差について》

県水だより満足度

- ・回答者数 483 人
- ・回答比率 88.6 %
- ・標本誤差  $100 \times 1.96\sqrt{\{0.886(1-0.886)/483\}}=2.83$ (誤差の半値 1.4%)
- ・実績値の誤差範囲(実績値に標準誤差の半値を加味)  $88.6 \pm 1.4\%=87.2\% \sim 90.0\%$

ホームページ満足度

- ・回答者数 528 人
- ・回答比率 66.7%
- ・標本誤差  $100 \times 1.96\sqrt{\{0.667(1-0.667)/528\}}=4.02$ (誤差の半値 2.0%)
- ・実績値の誤差範囲(実績値に標準誤差の半値を加味)  $66.7 \pm 2.0\%=64.7\% \sim 68.7\%$

お客様サービス満足度

- ・回答者数 523 人
- ・回答比率 94.4%
- ・標本誤差  $100 \times 1.96\sqrt{\{0.944(1-0.944)/523\}}=1.97$ (誤差の半値 1.0%)
- ・実績値の誤差範囲(実績値に標準誤差の半値を加味)  $94.4 \pm 1.0\%=93.4\% \sim 95.4\%$

○今後の進め方

今後の進め方	継続
【評価結果の説明・分析】	
主要施策の評価については、「達成している」、成果指標の達成状況については、「達成している」又は「概ね達成している」と評価しており、施策全体として概ね順調に進捗していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。	

○内部評価機関 (経営戦略会議)	(総合的な意見等) 自己評価を妥当と認める
における評価	(特記事項) なし

外部評価会議委員の評価	「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性 A：妥当である 5人 B：概ね妥当である 人 C：不十分である 人	・適切に評価が行われているため、A妥当であると評価する。
評価会議委員の主な意見等及び局の回答	・クレジットカード払い等の導入は、滞納の減少にもつながっているのか。 (局回答) 導入効果と言えるかわからないが、水道料金の収納率は99%以上となっているものの、数字は若干増加している。	

《基本目標 3》お客様からの「信頼」の確保

主要施策（7）大規模事業者の責務と社会貢献

R6 年度最終予算額（千円）				R6 年度決算額等（千円）		
R6 当初予算額	R6 最終予算額	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
564,130	451,194	0	451,194	342,196	0	342,196

○主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
① 県内水道の統合・広域連携*					
② 環境負荷の低減に向けた取組					
再生可能エネルギー発電設備活用による発電量		○			
浄水発生土の再資源化率、 再利用可能な建設発生土の再資源化率、 建設副産物の再資源化率	○				
③ 国際貢献及び他事業者への技術支援					
海外水道事業者への技術支援	○				
県内水道事業者へ開放する研修講座数	○				

※ 本取組の検討主体は知事部局であることから、評価の対象からは除外します。

○主要施策の評価

達成状況	達成している
<p>3つの項目について「達成している（100点）」、1つの項目について「概ね達成している（90点）」と評価したことから、施策全体としては「達成している（95点以上）」と評価しました。</p> $\frac{100 \times 3 + 90 \times 1}{4} = 97.5$	

○成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 二酸化炭素排出量削減	3,300t-CO2/年（毎年度）	3,055t-CO2/年	概ね達成している		
過年度実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 二酸化炭素排出量削減	2,941t-CO2/年	2,979t-CO2/年	2,683t-CO2/年	3,055t-CO2/年	

【評価結果の説明・分析】

太陽光発電やマイクロ水力発電による電力の削減、発生土のリサイクルなどにより二酸化炭素排出量削減を図りました。各取組により 3,055t-CO2/年の成果が得られましたが、目標には及ばなかったため、「概ね達成している」と評価しました。来年度も引き続き二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいきます。

○今後の進め方

今後の進め方	継続
<p>【評価結果の説明・分析】</p> <p>主要施策は「達成している」又は「概ね達成している」、成果指標の達成状況は「概ね達成している」と評価しており、施策全体としては概ね順調に進捗していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。</p>	

○内部評価機関 (経営戦略会議)	(総合的な意見等) 自己評価を妥当と認める
における評価	(特記事項) なし

<p>外部評価会議委員の評価</p>	<p>「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性</p> <p>A：妥当である           5人                  B：概ね妥当である       人                  C：不十分である         人</p>	<p>・適切に評価が行われているため、A妥当であると評価する。</p>
<p>外部評価会議委員の主な意見等及び局の回答</p>	<p>・気象庁の発表で、今後も異常気象の頻度が増えていく予測が出されているため、環境変化にどのように対応していくかが求められてくると考える。異常気象の先行きは読めないところではあるが、状況を見ながら適切に対応していただきたい。</p>	

《基本目標 3》お客様からの「信頼」の確保

主要施策（8）運営基盤の強化

R6 年度最終予算額（千円）				R6 年度決算額等（千円）		
R6 当初予算額	R6 最終予算額	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
33,997,948	32,781,996	11,156,535	43,938,531	31,312,887	10,745,161	42,058,048

○主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
① 職員の育成・確保及び能力開発					
技術研修等講座数	○				
人材育成等を目的とした局独自の研修の実施、改善	○				
事業運営に必要な執行体制の確保	○				
② ICTや民間活力の活用による業務の効率化					
支払方法の多様化及び手続き、問い合わせ・御相談等のオンライン化の実施状況（再掲）	○				
ICT（情報通信技術）等の活用による業務の効率化に向けた検討	○				
配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施	○				
③ システムの安定運用及びセキュリティ対策の強化					
情報システム等の整備件数	○				
情報セキュリティ研修等受講者数	○				
障害等への即日の初動対応率	○				
④ 健全経営の推進					
経費の削減	○				

○主要施策の評価

達成状況	達成している
主な事業に係る達成指標について、全ての項目で目標を達成したことから、施策全体として「達成している」と評価しました。	

○成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 経常収支比率	財政収支見通しにおける数値以上（R6:108.7%）	106.6%	概ね達成している		
2. 自己資本構成比率	財政収支見通しにおける数値以上（R6:75.9%）	76.1%	達成している		
過年度実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 経常収支比率	112.1%	105.5%	108.1%	106.6%	
2. 自己資本構成比率	79.2%	78.7%	77.3%	76.1%	

【評価結果の説明・分析】

1. 経常収支比率

経常収益は、給水収益の増（3 億円増）等により前年度と比較して 13 億円増の 776 億円となりました。一方、経常費用は、修繕費の増（6 億円増）や減価償却費の増（16 億円増）等により、経常費用が 22 億円増の 728 億円となったことから、経常収支比率は前年度から 1.5 ポイント悪化し、106.6%となりました。

また、中期経営計画における目標との比較では、物価高や人件費の上昇等による経常費用の増のほか、給水収益の伸びが見通しに届かなかったこと等により、経常収支比率は目標を 2.1 ポイント下回りました。

経常収支比率が 100%以上であるものの令和 6 年度における目標を下回ったことから、経常収支比率は「概ね達成している」と評価しました。

2. 自己資本構成比率

純利益を 48 億円計上したことなどにより自己資本は 8 億円増加した一方、企業債残高の増（90 億円増）や未払金の増（43 億円増）などにより負債は 139 億円増加しました。結果、自己資本構成比率は前年度から 1.2 ポイント悪化し、76.1%となりましたが、中期経営計画における目標である 75.9%を上回ったことから、「達成している」と評価しました。

○今後の進め方

今後の進め方	継続
<p>【評価結果の説明・分析】</p> <p>主要施策の評価については「達成している」、成果指標の達成状況については、「達成している」又は「概ね達成している」と評価しており、施策全体としては概ね順調に進捗していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。</p>	

○内部評価機関 (経営戦略会議)	(総合的な意見等) 自己評価を妥当と認める
における評価	(特記事項) なし

外部評価会議委員の評価	<p>「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性</p> <p>A：妥当である           5人 B：概ね妥当である        人 C：不十分である           人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切に評価が行われているため、A妥当であると評価する。</li> <li>・民間委託に関しては効果などを実際に検証した上で、丸投げするような形にならないように、直営で維持する業務内容を明確にし、責任を果たせるような体制をつくってほしい。</li> </ul>
外部評価会議委員の主な意見等及び局の回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DXの観点から管理図の電子化による業務の効率化というところは、運営基盤の強化にもつながると考える。</li> <li>・民間へ委託することで業務の効率化が図れる一方で、職員の技術継承という視点においては、外部への委託は今後、慎重に検討する必要がある。</li> <li>・修繕費（3条）と建設改良費（4条）の区分について、実務上で判断に迷うことはあるものか。（局回答）施設の更新や耐震化など能力の向上を行うための工事等は建設改良費（4条）、現状の施設の維持を行うための工事等は修繕費（3条）で区分しており、実務上で支障はでない。</li> </ul>	